保健師だより

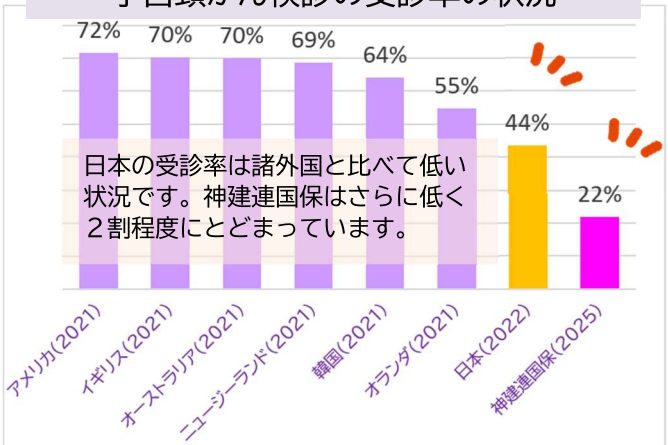
第 283 号
2026 年 10 月
神奈川県建設連合
国民健康保険組合
藤田

日本では、男性の 3 人に 2 人、女性の 2 人に 1 人が、生涯のうちにがんになるといわれています。がんは年齢や持病の有無にかかわらず、誰にでも起こる可能性があります。特に子宮頸がんは 20 歳代から発症が増え、30～40 歳代にも多くみられます。ぜひがん検診を習慣にしましょう。

子宮頸がんの主な原因はウイルス

子宮頸がんの主な原因は、ヒトパピローマウイルス（HPV）への感染です。HPV は男女を問わず、誰でも感染する可能性があります。多くの場合は自然に排除されますが、一部では感染が長く続き、子宮頸部の細胞に変化が起こります。その変化が数年かけて、がんに進行することがあります。HPV は、子宮頸がんだけでなく、中咽頭がんや肛門がん、陰茎がんなどの原因となることもあります。

子宮頸がん検診の受診率の状況



※日本医師会作成の諸外国のがん検診データを基に作成。20－69 歳の検診受診率を基準としているが、神建連国保は 20－74 歳の受診率で算出。

子宮頸がんは 20 歳代から発症増加

ワクチンで将来の子宮頸がんを予防

日本では、子宮頸がんの発症が 20 歳代から増加し、30～40 歳代にも多くみられます。

ＨＰＶワクチンは、ＨＰＶの感染を予防します。日本では小学 6 年生から高校 1 年生相当の女性が定期接種の対象です。ただし、ワクチンですべてのＨＰＶ感染を防げるわけではありません。ワクチンを接種した方も 20 歳になったら定期的に子宮頸がん検診を受けましょう。➡神建連国保なら毎年度無料で受けられます！

無料のがん検診を見逃さないで！

神建連国保にご加入の 20 歳以上の女性の方は毎年度 1 回基本検査と併せて、無料で子宮頸がんと乳がん検診を受けられます！「基本検査＋がん検診」をセットで受けて、健康チェックを習慣にしましょう。

基本検査受診の際にお受けになれなかった場合は年度内であれば、がん検診のみの補助も実施しています。詳しくは神建連国保の保健課までお問い合わせください。なお、基本検査受診の際に子宮頸がん検診と乳がん検診の受診がなかった方には封書で案内を送付しています。

神建連国保保健課 045-453-9661(代)

子宮頸がんの検診方法は？

医師が子宮頸部を確認し、専用のブラシなどで細胞を採取して調べます。検査は短時間で終わります。不安や痛みがある場合は、遠慮せず医師や看護師に伝えましょう。なお、女性医師が対応している医療機関もありますので、希望する場合は、予約時に確認してみましょう。

検診ではがんになっていないかだけでなく、がんになる可能性のある細胞があるかも調べることができます。**検診の結果が要精密検査だったとしても、すべてががんと診断されるわけではありません。過度に心配せず、早めに婦人科で精密検査を受けましょう。**

インフルエンザの流行に備えよう！

10 月ごろから各医療機関でインフルエンザ予防接種が始まります。今年はすでに 8月頃から一部地域で流行が確認されています。ぜひ本格的な流行前に予防接種を済ませましょう。神建連国保ではインフルエンザ予防接種助成をしています。
小学生以下：4,000 円　中学生以上：2,000 円　ぜひご活用ください。
※9 月 2 日に発送した国保だよりに申請書を同封しています。